

2025年度事業報告

I. はじめに

近年、AI 技術の発展により、様々な分野で技術が驚くべき速さで進化しており、自動車分野においても、通信機能を備えたコネクテッドカーの普及が進み、自動車は、単なる移動手段から、車両状態や周辺の道路状況といった多様なデータを取得・共有し、ネットワークを通じてクラウド上で分析・活用されるデジタルプラットフォームへと進化しつつある。これに伴い、カーナビやスマートフォン等を通じた道路交通情報提供サービスも急速に多様化しており、2025年度の VICS 対応車載機の出荷台数は、約333万台（対前年度比89%）と減少となった。

一方、国内の環境は、オーバーツーリズムによる観光地等での渋滞問題や近年のゲリラ豪雨、大雪等の災害多発により、道路等への情報提供の重要度がさらに増しており、渋滞情報の更なる精度向上や交通障害情報の拡充等を通じたサービスの改善・充実を図る必要がある。

このように VICS を取り巻く事業環境は大きな転換期を迎えている中、次世代 ITS の一翼を担う存在として、早急に VICS センターの今後の方向性をまとめ、継続的な進化を実現していく。

II. 事業執行状況

（1）VICS プローブシステムの運用・高度化と新たなサービスの実現

①VICS プローブシステムの運用・高度化

2025年4月から本格運用に移行した「VICS プローブ活用サービス」については、システムの安定運用を図るとともに、様々な機会を活用することによって、広く周知を図った。

また VICS プローブの生成について、情報精度・鮮度に課題が見受けられた「距離の長いリンク」において、生成方式を見直すことによって、改善が図れることを確認した。

②プローブ情報や車両データ等の利活用の検討

関係機関との連携により、VICS プローブの仕組みを活用した災害時通行実績情報を2026年1月から配信できる環境を構築した。

また、警察と連携した VICS プローブの精度評価や交通管理業務における有効性の検証を2023年度から継続実施するとともに、大型車が収集する車両の挙動データによる大雪時の車両スタック検知についての可能性を検討した。

③現行サービスの改善と新たなサービスの実現

大雪時通行規制情報等の配信サービスについては、九州地域において、大雨時への適用を完了した。また、新たな災害情報提供サービスとして、浸水害、洪水、土砂災害危険度分布情報の活用を検討した。

また、大阪・関西万博の開催に合わせ、事業者提供サービスでも、イベント規制予告情報の提供を開始するとともに、パーク&ライド支援として、最寄り駅周辺の大規模民間駐車場の満空情報の配信を通常時の約10倍に拡大した。

さらに、臨時駐車場向け満空情報の提供サービス（実証実験）において、満空情報入力用専用端末に代わり、スマートフォンのWebアプリで登録可能なシステムを導入し、本サービスの利用拡大を促進した。

（２）センターシステムおよび放送所設備の高度化・安定運用

①システムの安定運用と更新

2026年度末に更新時期を迎えるセンターシステムの更新に向け、ハードウェアの更新とOS・ミドルウェアのアップデート、アプリケーションの機能改善等に着手した。

また、センター・放送所間ネットワークの強化に関しては、唯一メタル回線となっていた水戸局の光回線への切替えを完了させ、安定したサービス提供を可能にするとともに、全国放送所への非常用衛星回線についても更新に着手した。

②次期システムの検討

センターシステムの将来的な全面更新に向け、クラウド化を含めた次期システムの検討に着手した。

③運用管理等に関する取組の継続・強化

システムの安定的な運用管理に向けては、サイバーセキュリティ訓練、関係機関との合同災害対策訓練、臨時災害放送用可搬型設備の設置訓練等を複数回実施し、災害時等の対応力強化を図るとともに、保守委託事業者を対象としたテクニカルワークショップを実施し、FM多重放送技術の継承に努めた。

（３）新たなニーズへの適切な対応

①ユーザーニーズの把握

Webユーザー調査では、VICSが提供する交通情報サービスや車載機に関するユーザーニーズおよびVICSに影響を及ぼす変化を把握することで、今後のVICSの在り方を検討する材料とした。

また、若年層ほどスマホナビを使用する傾向にあることを踏まえ、若年層に対し、フォーカス・グループ・インタビューを行い、利用実態の詳細把握に努めた。

②VICSセンターの目指す姿や方向性の検討

カーメーカーおよびナビメーカーを個別に訪問し、コネクテッドカーや車載機の今後の技術動向に関するディスカッションを実施、今後の目指す姿や方向性検討に活用していく。

（４）継続施策の改善・進化

①広報・普及促進活動の一層の推進

財団設立30年を迎えるにあたり、5月には、有識者、関係省庁、関係団体と理

事長で座談会を開催し、今後の VICS センターを考えるきっかけの場とした。

また 7 月には、記念式典および祝賀会を開催、200 名を超える方に参加いただき、出席者相互の交流を深める場とした。

さらにシンプルでわかりやすい内容に Web サイトをリニューアルし、あわせてジャパンモビリティショー等への出展を通じ、取組みの認知度向上に努めた。

②業務管理等

「VICS プローブ活用サービス」の本格運用への移行に伴い、組織規程を一部改正し、事業企画部のプロジェクト推進室を技術室に改組した。

また、内部管理では改正された国家公務員等の旅費に関する法律（旅費法）の施行と現下の経済情勢を踏まえ、旅費規程の一部改正と関連する内規の整備、さらに業務用 PC のモバイル化等 OA 環境の変化に応じ、OA システム利用ルールの改正を行い、業務環境の整備を図った。

Ⅲ. 事業計画執行のための会議の開催

(1) 理事会

① 2025年 5月28日 2025年度第1回理事会

第1号議案 2024年度事業報告(案)及び計算書類等(案)承認の件

第2号議案 評議員選定委員5名選任の件

第3号議案 評議員候補者4名推薦の件

第4号議案 評議員候補者25名推薦の件

第5号議案 2025年度定時評議員会招集の件

第6号議案 役員等賠償責任保険の契約内容の件

以上が審議され、いずれも原案のとおり承認された。

報告事項 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について

② 2025年11月14日 2025年度第2回理事会

第1号議案 旅費規程改正(案)承認の件

以上が審議され、原案のとおり承認された。

報告事項 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について

③ 2026年 3月12日 2025年度第3回理事会

第1号議案 2026年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)承認の件

第2号議案 組織規程一部改正(案)承認の件

以上が審議され、いずれも原案のとおり承認された。

(2) 評議員会

① 2025年 6月13日 2025年度定時評議員会

第1号議案 2024年度計算書類等(案)の承認の件

第2号議案 理事1名選任の件

以上が審議され、いずれも原案のとおり承認された。

(3) 事業報告会

財団設立30年にあたり、7月22日に記念式典・祝賀会として開催。

(4) 事業懇談会

① 2025年 5月21日 2025年度第1回

② 2025年11月10日 2025年度第2回

③ 2026年 3月 6日 2025年度第3回

(5) 車載機連絡会

① 2025年 5月15日 2025年度第1回(通算第92回)

② 2025年 9月 4日 2025年度第2回(通算第93回)

③ 2025年11月13日 2025年度第3回(通算第94回) 書面報告

④ 2026年 2月19日 2025年度第4回(通算第95回)

2025年度 事業報告附属明細書

2025年度事業報告には、一般財団法人及び一般社団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。